

あすなろ通信18号

座間市立東地区文化センター

TEL 046(253)0781

FAX 046(253)0789

Mail:koumin_e@city.zama.kanagawa.jp

あすなろ大学HP→

2024.11.7



いよいよ
東地区文化センター
再開です！！



あすなろ大学HP URL (HP委員会)

<http://asunarodaigaku.main.jp>

東地区文化センター再開

11月1日に事務室の稼働が始まりました。なにかあれば東地区文化センター事務室にご連絡ください。11月12日から図書館を含め、全館施設利用が可能になります。みなさんにお会いできるのが楽しみです。
仲間との学びの庭に「おかえりなさい！」（柳澤）

11月12月の予定



- 11/15(金) 講座再開日 (班活動)
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:8班)
- 11/22(金) 文学講座4 「川柳について」
発表:下村悦男 (12年)
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:9班)
- 11/29(金) 大学展に向けて
出席対象:発表者・関係者
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:10班)

大規模改修事業完了記念 あすなろ大学特別公開講座月間

- 12/6(金) 公開特別講座2
「あなたのDNA2%がネアンデルタール人」
講師:馬場悠男先生
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:11班)
- 12/13(金) 公開自主講座2
「この命の限り
～戦後74年目の引き上げ記録～」
発表:14年 進藤正昭 他
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:12班)
- 12/20(金) 公開自主講座3
「仮想計画 座間市に酒蔵を造る！」
発表:5年 岩宮正治 他
第1集会室 13:30~15:30 (当番班:1班)

あすなろ会便り 18 会長:進藤正昭

まちだ探・探会 宮良さんからのお便り

2022年度の大学展で、「尖閣諸島戦時遭難事件」についてお話をいただいた宮良(みやら)さんからお便りをいただきました。

読売新聞の取材を受けたということで、同新聞の連載記事「鎮魂の海 戦後79年」の、今年8月18日付の記事のコピーが同封されていました。

この特集記事は、戦時の民間遭難船に対する戦後補償に差があることを訴えています。宮良さんと同様の遭難体験をされた人は他にもいて、「戦時遭難船舶遺族会」という団体もあり、来年には戦後80年を迎えるという今もなお、戦後補償の問題がくすぶっていることを知りました。

この記事は、講座再開の11月15日(金)に第1集会室に掲示しますので見てみてください。

宮良さん(85)は今も、まちだ探・探会で活動されていて、戦争体験に根差した調べ学習を続けているとのことでした。

ちなみに「尖閣諸島戦時遭難事件」については、その後何ヵ所かでお話をされる機会があったそうですが、一番熱心に傾聴してくれたのは、あすなろ大学の聴衆でした、と書き添えられていました。

11月15日締切

【大学展キャッチコピー募集】

みんなで創り・楽しむ大学展を
ひと言でアピールするキャッチコピー

【大学展発表申請書提出のお願い】

発表を予定されている方は
申請書を提出してください。
出帆計画を提出されて
いない方も大歓迎！

あすなろ通信は各月7日を日安に発行しています。
皆さんにお知らせしたいことなど、何かあればご連絡ください
(柳澤)